

この事業は「横浜市受託事業」により実施しています。

薬物依存症者を抱える家族の会 NPO法人横浜ひまわり家族会

第9回「薬物依存症者と家族フォーラム」

薬物依存症は「病気」です～家族が笑顔を取り戻すために～

いいんだけ
言つても
助けて
よし



2025年8月23日(土)

会場：南公会堂 横浜市南区浦舟町2-33 南区総合庁舎4階

開演：12:30～16:30 (受付開始12:00)

*基調講演：国立精神・神経医療研究センター 精神保健研究所 薬物依存研究部 部長

薬物依存症センター長 松本 俊彦先生

演題：『市販薬クライシス』の実態と
わが国の薬物対策の課題

*体験談：家族・当事者からのメッセージ *Q&Aセッション

*参加費：無料 *事前申込制：会場定員250名 (定員を超えた場合は抽選となります。)

*ZOOMによるオンライン配信あり 定員200名

*申込みは：ホームページ <https://himawari.yokohama/>
FAX.045-947-3975 裏面の申込書にご記入の上お申し込みください。

*申込み締切り：8月16日(土)



主催：NPO法人横浜ひまわり家族会／横浜市障害者社会参加推進センター 共催：NPO法人横浜ダルク・ケア・センター
後援：神奈川県・横浜市社会福祉協議会障害者支援センター・横浜保護観察所（五十音順）

お問い合わせ／NPO法人横浜ひまわり家族会 TEL 045-475-2063 (木曜日10:00～16:00) 携帯 080-3488-1996

第9回「薬物依存症者と家族フォーラム」

薬物依存症は病気です～家族が笑顔を取り戻すために～

松本俊彦先生からのメッセージ

『市販薬クライシス』の実態とわが国の薬物対策の課題

最近数年間、薬物依存症の臨床現場では若年女性を中心とした市販薬乱用が大きな問題となっています。この問題については早くから私なりに警鐘をならしてきましたが、一向に対策がとられないまま、国はさらに市販薬推進施策を打ち続けています。当日の講演では、このような状況のなかで、専門家と支援者、そして当事者と家族は何をすべきなのかについて、私の考えを示させていただこうと思います。

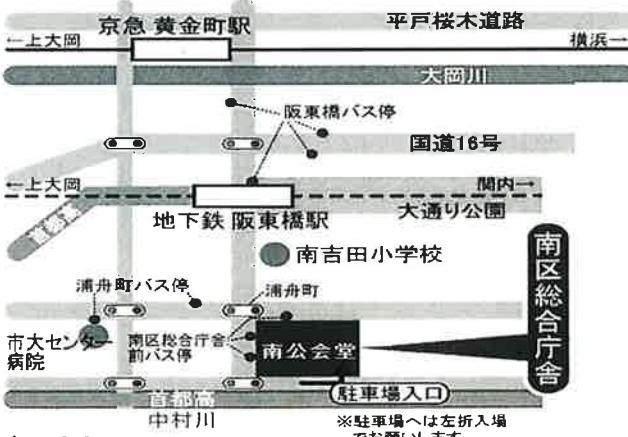
松本 俊彦

◆プログラム

2025年8月23日(土)

- 12:00 開場受付
12:30 開演／主催者あいさつ
来賓あいさつ
体験談／家族からのメッセージ
当事者からのメッセージ
13:30 休憩
13:45 基調講演／ 国立精神・神経医療研究センター
精神保健研究所 薬物依存研究部 部長
薬物依存症センター長
松本 俊彦 先生
15:15 休憩
15:25 Q&A セッション
ファシリテーター：北里大学医学部精神科学教室
臨床心理士 公認心理師 医学博士 片山 宗紀 氏
登壇者：松本俊彦先生・横浜ダルク施設長 山田
貴志氏・湘南ダルク施設長 栗栖次郎氏
16:25 閉会あいさつ
16:30 閉会

◆会場案内／南公会堂（南区総合庁舎4階）



◆アクセス

- 横浜市営地下鉄ブルーライン「阪東橋」駅下車、出口1Bより徒歩 8分・京浜急行「黄金町」駅より徒歩14分
- 来場は公共交通機関をご利用下さい。

事前申込制・締切日:8月16日(土)

*お申し込みは、ホームページ <https://himawari.yokohama/> または、*FAX.045-947-3975 下記の申込書にてお申し込みください。*ZOOMオンライン参加の方は、ホームページよりお申し込みください。

- お申し込みは、氏名・住所・所属・電話・FAX・メールアドレス・手話通訳希望有・無をご記入の上、お申し込みください。
- 会場参加定員250名を超えた場合、抽選となります。特に連絡がない場合はご参加いただけます。●ZOOMオンライン定員先着200名（ご提供いただいた個人情報はセミナーの管理運営・感染症発生時の行政機関の調査協力に使用いたします。）

参加者 氏名			住所	〒		
所属						
電話(携帯)FAX	メール				手話通訳希望	有・無

お問い合わせ／NPO法人横浜ひまわり家族会 〒222-0035 横浜市港北区鳥山町 1752 障害者スポーツ文化センター横浜ラポール3階
TEL. 045-475-2063 (木曜日10:00~16:00) 携帯 080-3488-1996(江原) FAX.045-947-3975 / 横浜ダルク 045-731-8666
※プログラムは都合により変更する場合があります。最新情報はホームページをごらんください。<https://himawari.yokohama/>